



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 シライ電子工業株式会社  
 コード番号 6658 URL <http://www.shiraidenshi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営企画・営業担当  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

上場取引所 東

(氏名) 小谷 峰藏  
 (氏名) 亀井 正巳

TEL 075-861-8100

配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,861	8.1	241		314		394	
2019年3月期第2四半期	13,994	1.0	90		243		515	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 382百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 540百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	28.26	
2019年3月期第2四半期	36.89	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,289	2,698	12.0
2019年3月期	21,997	3,150	13.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,544百万円 2019年3月期 3,009百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	6.4	200		320		450		32.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、(添付資料)6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	13,976,000 株	2019年3月期	13,976,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,413 株	2019年3月期	1,413 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	13,974,587 株	2019年3月期2Q	13,974,614 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2019年11月27日に機関投資家・証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の経済情勢は、好調を維持してきた米国経済は米中貿易摩擦激化の影響等により7月、9月に二度の利下げを実施するなど減速傾向を示しはじめ、欧州は英国のEU離脱をめぐる問題が長引いており不透明感を払拭できない状況が継続いたしました。また、中国におきましては米中貿易摩擦激化の影響に伴い景気低迷が継続するなど、世界経済全体の減速感が強まりました。

わが国経済におきましては、米中貿易摩擦激化の影響や消費増税に伴う個人消費への影響等様々な懸念材料を抱えており、今後への不安が強まる状況となりました。

プリント配線板業界におきましては、米中貿易摩擦激化の影響が電子部品全体の需要減少を引き起こしており、業界全体としては厳しい状況が続いております。

このような状況のなか当社グループは、プリント配線板事業におきましては、米中貿易摩擦激化の影響や中国の景気低迷等の影響により、国内外でこれまで堅調を維持してきたカーエレクトロニクス関連を含め、全ての分野において受注が減少した結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,861百万円となり、前年同期比では1,133百万円(△8.1%)の減収となりました。

営業損益につきましては、製造原価や販売費及び一般管理費の圧縮に努めたものの、売上高減収の影響を賄うことができず241百万円の営業損失となり、前年同期比では151百万円の悪化となりました。

経常損益につきましては、持分法による投資利益の増加や為替差損の減少はあったものの、営業損益が悪化した結果、314百万円の経常損失となり、前年同期比では70百万円の悪化となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常損益は悪化したものの、前年同期に発生した過年度法人税等の発生が無くなり、また税金費用も減少となった結果、394百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となり、前年同期比では120百万円の改善となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、21,289百万円(前連結会計年度末比707百万円減)となりました。その内訳は、流動資産が11,294百万円(前連結会計年度末比846百万円減)、固定資産が9,994百万円(前連結会計年度末比138百万円増)であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が719百万円、製品が100百万円減少したことによるものであります。固定資産につきましては、有形固定資産が66百万円、投資その他の資産が96百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、18,590百万円(前連結会計年度末比255百万円減)となりました。その内訳は、流動負債が12,260百万円(前連結会計年度末比1,265百万円減)、固定負債が6,330百万円(前連結会計年度末比1,009百万円増)であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が542百万円、電子記録債務が172百万円、短期借入金が349百万円、その他が102百万円減少したことによるものであります。固定負債につきましては、長期借入金が916百万円、その他が111百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,698百万円(前連結会計年度末比452百万円減)となりました。主な増減要因は、利益剰余金が464百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「2020年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ及び2020年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,253	2,286
受取手形及び売掛金	6,233	5,514
電子記録債権	335	376
製品	1,890	1,790
仕掛品	588	577
原材料及び貯蔵品	391	390
その他	448	359
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,140	11,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,394	3,241
機械装置及び運搬具（純額）	2,382	2,408
その他（純額）	2,645	2,837
有形固定資産合計	8,422	8,488
無形固定資産	286	261
投資その他の資産		
その他	1,161	1,257
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	1,147	1,244
固定資産合計	9,856	9,994
資産合計	21,997	21,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,969	3,426
電子記録債務	1,175	1,003
短期借入金	4,629	4,279
1年内返済予定の長期借入金	1,912	1,923
未払法人税等	166	73
賞与引当金	307	292
その他	1,363	1,261
流動負債合計	13,525	12,260
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	4,022	4,939
退職給付に係る負債	593	573
資産除去債務	147	148
その他	357	469
固定負債合計	5,320	6,330
負債合計	18,846	18,590
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	1,057	592
自己株式	△0	△0
株主資本合計	3,925	3,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	30
為替換算調整勘定	△894	△898
退職給付に係る調整累計額	△49	△48
その他の包括利益累計額合計	△916	△916
非支配株主持分	141	153
純資産合計	3,150	2,698
負債純資産合計	21,997	21,289

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	13,994	12,861
売上原価	12,069	11,151
売上総利益	1,925	1,710
販売費及び一般管理費	2,016	1,952
営業損失(△)	△90	△241
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	34	53
その他	32	24
営業外収益合計	70	81
営業外費用		
支払利息	119	139
為替差損	96	5
その他	7	9
営業外費用合計	223	154
経常損失(△)	△243	△314
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産廃棄損	26	6
固定資産売却損	0	9
特別損失合計	27	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△268	△330
法人税、住民税及び事業税	115	46
過年度法人税等	112	—
法人税等調整額	11	6
法人税等合計	239	53
四半期純損失(△)	△508	△383
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△515	△394
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	3
為替換算調整勘定	△70	△39
退職給付に係る調整額	4	1
持分法適用会社に対する持分相当額	36	35
その他の包括利益合計	△31	1
四半期包括利益	△540	△382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△545	△394
非支配株主に係る四半期包括利益	5	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。